

平成二十二年 1月号



岐阜県本部だより

japanese government approved non-profit organization(npo) japan karate syotorenmei HP: <http://www.fsinet.or.jp/~jks-gifu/>

発行: NPO法人日本空手松涛連盟岐阜県本部

発行責任者: 岐阜県本部広報部

岐阜県岐阜市森東9-6番地 tel(058)-229-6066

岐阜県瑞穂市別府 1214 tel/fax(058)326-5512

初日見る 夢を見る子の 美しさ 長剛

背景画像: 元旦 金華山山頂からの初日の出

年越しの除夜の鐘は、しんしんと降り積もる雪のせい、いつもほど響いてはこなかった。「そろそろ聞こえるはずなのに」と、恒例のテレビ番組の終わりにあわせてスイッチを切る。しんしんと音がするでもないのに、窓の外に尋常ではない雪を感じる。さつきから何度となくカーテンを開けはしゃぐ子供、台所からは年越しそばの良い香りが何とも幸せな気分を醸し出す。年越しの雰囲気というのは、それぞれの国風があるのだろうが、日本のそれはやはりいい。この大雪のおかげで、久しぶりに、正月らしい正月が迎えられる。

ふと目を閉じると、かすかに聞こえてきた除夜の鐘。そこに意識を集中させると、心のずつとずつと奥のほうに、優しく、そして強く沁み入ってくる。目に見えない煩惱という分厚い鎧を溶かすように。もう、とうに鐘の音は消えている筈なのに、心の奥のほうにはまだ響いているのは錯覚か。日本の文化というものは、時代が変わっても、世相が変わっても、「侘び寂び」の本意を説明できぬ我々にも、身体の内底には脈々と受け継がれているものなのだろう。

二〇一〇年、元旦。見慣れたはずの庭先が、まるで何も書かれていない半紙の様に、また洗ひ晒しの空手衣の様に真白に雪化粧していた。大人気ないとは思いつつも、子供より早起した特権とばかり、新年最初の一步、大きな足跡をつけてみた。

家の中では、眠い目をこすりながら起きてきた子供が、初夢の話を語り始める。一生懸命話すうち、何とも辻褄の合わなくなってきたその物語は、庭先の雪景色に目を奪われると同時にパタリと終わり、眩しそうに目を細めて外に駆け出してきた。

「うわぁ、真っ白。」

夢の結末を聞きたくもあつたが、聞かないこと、これも一つのネバーエンディングストーリー(終わりのない物語)。雪を見てはしゃぐ子供の瞳を見て、今は全身で雪を感じれば良いと思ひ直した。きつとこの子もその時が来れば、心の中にある雪原の様な白いキャンパスに、大きな大きな夢を描くだろうと信じて。



2010年 岐阜県本部始動!

一月初頭、各支部、各道場では、それぞれに趣向を凝らした鏡開きや、稽古始め、寒稽古が行われた。

昨年も大きな躍進を遂げた岐阜県本部も、1月30日(土)に常任理事会、理事会、岐阜グランドホテルにおいて恒例の



新年会。更に、翌31日(日)は、岐阜県本部型・組手講習会／資格審査会と、早くも本格始動を始めている。平成22年は、4月29日(祝木)に岐阜県大会。そして、その5日後となる5月4日(祝火)には、東海北信越地区大会がここ岐阜県にて開催が予定されている。各支部の指導者、会員、保護者、そして岐阜県本部一丸となって、これらで大成功へと導いていきたいと願う。



JKF ルール改正に伴う審判説明会

1月、財団法人 全日本空手道連盟 試合ルール改正に伴う説明会が、東京、大阪の2会場で開催された。東京会場は1月16日(土)、これには当岐阜県本部から吉村先生が参加。昨年11月に完成した「日本空手道会館」において、北は北海道から、南は九州まで500名を越す審判員が集結。午後1時に始まった説明会は、新ルール採用への経緯、新ルールの概略説明～試合シミュレーションと非常に中身の濃い講習となった。質疑応答では、試合と言う現場を知る全国各地の審判員から、ルールブックには記載されていない、且つ実際に遭遇する場面での対応について細かな質問が投げかけられた。その質問の内容からも、空手の実技同様、「審判道」なるものへの深い責任感と、重圧、そして選手を思うからこそその愛情を感じ取られた。

参加者の中には、我々と同じ松涛連盟の先生方も、全国各地から多数参加されており、新年の挨拶を交わすとともに、互いの近況報告、空手情報の交換に花が咲いた。

その翌週、1月23日(土)、大阪会場には、岐阜県本部より山本先生、永野先生、棚瀬先生が参加。こちらも全国各地から400名を越す審判員が参加。こちらの会場も熱気に包まれた説明会となった。

度重なるルールの変更に戸惑いは隠せないが、ルール改正に至った経緯について「これはルールの『変更』ではありません。オリンピック正式種目認可に向けて、また空手道を更に広く浸透させ、更に深く根付かせるための『進化』として受け止めていただきたい。世界統一のルールなのです。」との説明に、参加者一同大きく頷いた。日本発祥の空手道は、今では世界中で認められ、「え!こんな所にも?」と思うような場所にも『KARATE』の看板が掲げられている。世界各地で、見たこともない街や村で、同じルールで、同じ目標に向かい練磨するというこの壮大なスケール。教え子達が安心して、安全に試合に集中できるよう、そしてその一突き、一蹴りは世界に通じていることを伝えていくのも指導者としての使命と思われる。

これら新ルールの採用は、今年の4月1日より。各県連、市連において幾度かの審判講習会も予定されているので、指導者の皆さんは、是非とも参加をお勧めいたします。



<日本空手道会館>

住所: 東京都江東区辰巳 1-1-20

敷地面積: 約 1200 平方メートル

建築面積: 約 720 平方メートル

延べ床面積: 2555 平方メートル (5 層 3 階建)

設備: 1 階 - 事務室・会議室・倉庫・ロビー、

2 階 - 中道場・師範室・更衣室

トレーニング室・シャワー室

3 階 - 大道場

平成22年 主要行事予定 (松涛連盟の主な行事のみ掲載。県連、市連行事は省きます)

- | | | |
|------------|----------------------------|----------------|
| 3月14日(日) | 昇級・昇段審査／常任理事会・理事会 | 岐阜アリーナ |
| 4月29日(祝) | 岐阜県空手道選手権大会／日本・NIS 親善空手道大会 | メモリアルセンター |
| 5月4日(祝) | 東海北信越地区空手道選手権大会 | 岐阜アリーナ |
| 6月20日(日) | 岐阜地区昇級審査会／午後より技術講習会 | 岐阜アリーナ |
| 7月31日～8月1日 | 全国空手道選手権大会 | 愛媛県松山市 愛媛県立武道館 |
| 9月12日(日) | 昇級・昇段審査会 | 岐阜アリーナ |
| 11月27日(土) | 東海北信越地区 高段位、資格審査会 | メモリアルセンター |
| 28日(日) | 東海北信越地区 技術講習会 | メモリアルセンター |
| 12月26日(日) | 岐阜地区昇級審査会 | 岐阜アリーナ |



※上記は2010年1月現在、決定している行事です。締切等もありますので、詳細は都度、各支部長に確認ください。

○皆様からの感想、ご寄稿をお待ちしております。本年も宜しくお願い申し上げます。 岐阜県本部広報部